

都立永福学園（令和6年3月5日実施）意見交換会

意見交換会で出た意見 ※抜粋

- 車椅子での外出時に、子どもたちに覗かれたり、追いかけられたりすることがよくある。興味もあると思うが不快さも感じる。子どもが子どもを差別しないで、どの子ども同じように普通に歩けるようになるとうい。
- 一卵性双生児で長男は健常児だが次男に障害がある。きょうだい児も本人も差別されないこと。障害があっても特別視されずに普通の存在として認められたい。生産性が重視される世の中だが、何か特化した才能がないとダメということではなく、当たり前居ていい居場所があるといい。
- 家族で出かけると車いすを覗かれたり、「あんなに大きいのにベビーカー乗っている」等を聞こえるように言われたりする。何で自分の兄だけそう言われるのか、見られたり聴かれたりするから説明書をつけて車椅子に貼っておく？という意見が小4の妹からあった。普段、取り立てて親に何かを言うことはないが、この意見交換会がきょうだい児と話をするきっかけになり、きょうだい目線で日々色々と感じていることがあるとわかった。
- カリフォルニアでは午前中を特別支援クラスで過ごしても、午後は一般クラスに交じって活動するなど同じ空間で過ごすことが当たり前だった。障害児のバディ役となる生徒もいてイベント等を通じて関係性を築くこともできたし、親やコミュニティ含め、障害児を受入れて一緒に盛り上げようという雰囲気があり、多様性を子どもの頃から体感できる環境にある。